

1 開会の言葉

2 教育長あいさつ(河原崎 全 教育長)

2年続きのコロナ禍ということで、この会もなかなか開催が出来ませんでした。コロナの蔓延防止重点措置実施中ですが、直接人が集まるということは価値のあることだと思います。年に1回でも2回でも、集まることの価値を大事にしたいと思っています。

この協議会では、『あいさつ運動』『早寝早起き朝ごはん』『ゲーム障害、ネット依存の防止』に取り組んできました。『早寝早起き朝ごはん』につきましては、1年前、文部科学大臣表彰、今年11月には、県の教育委員会から表彰をしていただきました。市をあげての取組の成果が評価されることは嬉しいことです。『ゲーム障害・ネット依存の防止』については、各学校で浜松学院大の今井教授の講演会を開催したり、青少年健全育成会議や各地区での懇談会のテーマにさせていただいたりしました。また、養護教諭の先生方にも子供たちの睡眠について研究を進めてもらいました。学校関係だけでなく、社会教育の関係の方も関わってくださっています。これからは、市の健康福祉部のこども未来課や健康づくり課とも連携をとっていければ・・・と思っています。具体的な活動が各部署で広がり、渦になっていってほしいと思っています。

1年前島田准教授より『子供たちの参画』というアドバイスをいただきました。児童会や生徒会等を中心にしながら(特別活動等でも)このテーマについて、子供たちも動いていってくれれば、子供たちのための活動になっていくと思います。何年か続いてきたこの活動が市をあげての活動になっていってほしいと思っています。

来年度に向けて、同じテーマを続けてもらおうと嬉しいと思っています。パソコンや電子メディア等と主体的・自立的に関わって上手に付き合っていくというようなテーマに変えたらどうかと思いますし、『早寝早起き朝ごはん』は基本ですので、ぜひ続けていってほしいと思います。『読書』も欠かせないと思います。『あいさつ』これももう何年も続けられているので、続けていってほしいです。挨拶が出来て、規則正しい生活ができる。これができるれば、将来しっかり生きていけるのではないかと、生きていくための基礎を身につけていってほしいと思います。

この会の形態については、来年度からは、各学校での活動が入ってくると聞いています。各中学校区の独自のものがあってもいいと思いますし、『スクラム御前崎』ですので、市をあげての取組も欠かすことが出来ないと思っています。各学校、中学校区、市全体の3本立てのような形になりますが、柔軟に活動していただきたいと思います。

最後になりますけれども、PTAの役員の方々には、この1年間大変お世話になりましたありがとうございました。是非、この協議会の活動を、次の役員さんにも引き継いでいただくと共に、今後も御協力をお願いしたいと思います。

3 今年度の取組と次年度に向けて (鈴木秀和学校教育課長)

令和3年度 第2回 御前崎市スクラムスクール運営協議会

令和4年3月10日 御前崎市文化会館



御前崎市教育委員会 学校教育課

「スクラム御前崎」

※「スクラム」：親・学校・家庭・地域・産業界・各団体・行政等の協働
基本目標：スクラムで取り組む「郷土を愛し、未来を創る人づくり」



今年度の取組

学校スクラムスクール運営協議会 (兼：学校運営協議会・学校評議員会)
学校経営方針の説明・承認。学校・家庭・地域で連携して解決する各校の子供たちの課題を共有し、方策を協議する。

御前崎市スクラムスクール運営協議会 (兼：市P連)
○スクラムグッドマナー運動 (毎月10日)
○学校スクラムスクール運営協議会で協議した内容を共有する。
○「早寝・早起き・朝ごはん」の推進を継続。特に「早寝」を推進するため「ゲーム離れ・ネット依存」を子供たちの課題として取り組む。

課題

- ①規則正しい生活習慣を身につけ、子どもたちが力を最大限発揮できるようにすることをめざす。
- ②児童生徒だけでなく、保護者を含めた「ゲーム離れ・ネット依存」から子どもたちを守るための取組を行うことにより、ネットとの上手な付き合い方を学ぶなど、よりよい活用へつなげる。

今年度の取組

■ 5月10日 第1回 市スクラムスクール運営協議会

□ 10月30日 スクラム御前崎の集い

■ 3月10日 第2回 市スクラムスクール運営協議会

「ゲーム離れ・ネット依存」に関する講演会

スクラムグッドマナー運動 (毎月10日 あいさつの日)

学校スクラムスクール運営協議会(学校評議員会)

第一小 5月31日(2学期) 3月10日

東 6月14日・2月1日 北 小 6月18日・2月3日

浜岡中 6月8日・1月31日 白羽小 6月11日・2月10日

御前崎小 7月9日・2月15日 御前崎中 6月18日・1月14日

地蔵方小 5月12日(2学期) 3月2日

※本会は、新型コロナウイルス感染症の状況により、中止・延期・他日開催になったものがあります。

5月10日 第1回スクラムスクール運営協議会



スクラム御前崎の集い 10月30日 待合地区センター

「元氣心と体をつくる 睡眠講座」

「早寝・早起き・朝ごはん」の推進

実践教員研修会による「睡眠指導」研究報告

各校・各年で取組が継続されている

「子どもたちの健やかな成長のために」

東北大学 瀬崎之教授

浜松学院大学 今井昌彦 教授による「ゲーム離れ・ネット依存」に関する講演会

各校・園で 情報モラル講座(NPO法人 e-lunch)と合わせて実施

学校スクラムスクール運営協議会 3校の取組を紹介



浜岡東小学校

第2回協議会(予定) 協議会委員 7名

○授業参観
○協議会
○授業参観の感想
・学校経営方針について
・子供の学びと学校の現状について
○専門教育大学教員による講義 (リモート)
「次世代の学校づくりを具現化する 地域連携の在り方」

久教教習の講義内容
・子供の「居残り」と「働き」を引き出し、自立・協調・創造を生み出す学校運営の構築
・小さな1人1人でも大きな健康と心と学校精神と地域連携の在り方
・地域ぐるみで子供を育てるチーム学校の創造
・学校教育の充実と地域の活性化により、子供、教員、保護者、地域の方の幸せを生み出す

学校スクラムスクール運営協議会において、大学教員の講話を通して、「地域との連携の在り方」について学び、考え、共有する機会となった。

第一小学校

年2~3年生(予定) 協議会委員 10名

○授業参観
○協議会
○授業参観の感想

※1回目の内容
・授業参観の感想
・子供の学びと学校の現状について
・地域のつながり
・学校経営方針について
・「夢プロジェクト」について
事業1 学校における業務改善プラン
チームワーク(校務)における機軸について
事業2 地域の教育力を高めるコミュニティスクールの組織と役割について

「夢プロジェクト」事業2について
・地域の力を動員して、教員が子どもに向き合う時間を確保する。
・地域の教育力を高めるための取組として、多くの人の力を貸してもらえよう
・ネットワークづくりを行う。
・組織づくり 正副委員長・委員支援部、K&A(ア)企画広報部、地域安全部・教員支援部

学校スクラムスクール運営協議会の組織と役割を明確にすることにより、地域の力を学校の業務改善につなげようとする取組がなされている。

御前崎中学校

4~2年生 協議会委員 5名

○授業参観(1・2時)
○協議会
○授業参観の感想(1・2時)

※2回目の内容
①(目的)
・学校スクラムスクール運営協議会について
・学校経営方針と学校経営について
・子供の学びと学校の現状について
②(内容)
・本年度の学校経営の成果と課題について
・次年度における
・学校関係者評議員について

学校関係者評議員の役割 (協議会2回目)
主任、授業者アンケート、結果の振り返り(自己評価)から改善と課題を把握し、事業に取り組むための取組について協議した。

学校の課題が共有され、その方策について話し合われた。年度末の学校運営協議会では、学校関係者評議員も参加される。年度の内(計画)・(協議)・(評価)・(改善)のサイクルに運営協議会も協働付けられる。

令和4年度の計画 ※現時点での予定

学校・家庭・地域で連携して解決する各校の子供たちの課題を共有し、方策を協議する

市スクラムスクール運営協議会

第1回 5月19日(木) 19時より
第2回 3月 9日(木) 19時より

学校スクラムスクール運営協議会

●各校で年2~3回の実施
●協議会委員 地域代表、保護者代表
学校教員、連携する嵐、高校の校長
学校教育課 (SP 6/6、地域7/4/4)

スクラム御前崎の集い

- スクラムグッドマナー運動 毎月10日 あいさつの日
- 基本的な生活習慣の定着
- 「早寝・早起き・朝ごはん」の推進
- 「ネット依存・ゲーム離れ」に関する講演会
- 情報モラル講座

○本年度の学習状況と生活習慣の状況について（澤入基裕指導主事）

スクラムスクール
運営協議会

生活習慣と学力の関係について

①「朝食を毎日食べていますか？」

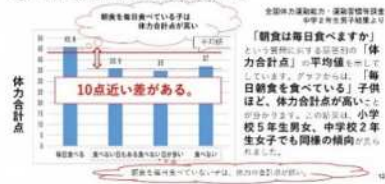
選択肢	児童数	割合 (%)	国値	数値
・している	223	88.1	63.1	65.9
・どちらかといえば、している	16	6.3	58.0	66.4
・あまりしていない	8	3.2	49.1	50.8
・全くしていない	5	2.0	54.3	56.3

※小・中・高別は、別表のページをご覧ください。

早寝・早起き・朝ご飯について

生活習慣と体力の関係について

②「朝食を毎日食べていますか？」



生活習慣について

「早寝・早起き・朝ご飯の定着」



生活習慣と学力の関係について

②「毎日同じくらいの時刻に起きていますか？」

選択肢	児童数	割合 (%)	国値	数値
・している	141	55.7	63.2	67.8
・どちらかといえば、している	91	36.0	62.2	63.9
・あまりしていない	19	7.5	56.4	53.3
・全くしていない	1	0.4	0.0	6.3

※小・中・高別は、別表のページをご覧ください。

生活習慣について

「早寝・早起き・朝ご飯の定着」



生活習慣と学力の関係について

③「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか？」

選択肢	児童数	割合 (%)	国値	数値
・している	77	30.4	63.3	64.9
・どちらかといえば、している	120	47.4	62.5	67.7
・あまりしていない	49	19.4	60.0	61.7
・全くしていない	7	2.8	54.1	47.3

※小・中・高別は、別表のページをご覧ください。

生活習慣について

「早寝・早起き・朝ご飯の定着」



「寝る時間が遅くなる（睡眠時間の不足）」の要因となる項目について

全国学調 メディア利用について（小学6年生）
「平日、1日あたりどれくらいの時ゲーム（ネット・コンピューター・スマホ含む）をしますか？」

全国	市	
4時間以上	15.5	15.4
3時間以上4時間未満	13.5	15.8
2時間以上3時間未満	20.4	25.7
1時間以上2時間未満	26.8	28.5
1時間未満	16.5	10.3
全くしない	7.2	4.3

3時間以上4時間未満 56.9%
全国 69.4%
+7.5%

※小・中・高別は、別表のページをご覧ください。

全国学調 メディア利用について（中学3年生）
「平日、1日あたりどれくらいの時ゲーム（ネット・コンピューター・スマホ含む）をしますか？」

全国	市	
4時間以上	16.7	20.1
3時間以上4時間未満	15.6	27.9
2時間以上3時間未満	24.7	28.0
1時間以上2時間未満	23	13.3
1時間未満	12.4	8.5
全くしない	7.3	2.2

3時間以上4時間未満 79%
市 87%
+19%

※小・中・高別は、別表のページをご覧ください。

標準学力i-check メディア利用について
「平日は、1日にテレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりしますか？」

全国	市	全国との差	
小学4年生	48.7	52.0	+ 3.3%
小学5年生	60.2	65.8	+ 5.6%
中学1年生	67.1	78.6	+11.5%
中学2年生	69.2	89.6	+20.4%

※小・中・高別は、別表のページをご覧ください。

生活習慣・学習に関する保護者アンケートより
「お子様は、平日、1日あたりどれくらいの時間、テレビ、動画、ゲーム、インターネットをしますか？」

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
21.4	31.1	34.6	27.0	32.1	31.4	31.7	38.7	34.5
6.8	9.3	11.0	14.3	11.2	16.0	18.3	14.5	19.0
2.6	4.9	5.5	7.9	7.1	10.8	10.8	19.1	12.6
30.8	45.3	51.1	49.2	50.4	54.3	60.8	72.3	66.1
			(52.0)	(65.8)		(78.6)	(89.6)	

保護者と児童生徒のアンケート結果に大きなズレがある。

令和4年度へむけて

- ゲーム障害・ネット依存について
- ・児童生徒に、ゲームやスマホの危険性だけでなく、上手に付き合う方法について、継続して指導していく必要がある。
 - ・保護者は、子供の実態を把握できていない現状がある。保護者の意識を高める工夫が必要である。

4 指導・講話（島田桂吾 静岡大学教育学部准教授）

このスクラム運営協議会は、地域・学校・保護者が同じテーブルで膝を突き合わせながら、同じ問題について議論していくという姿がとてもすばらしいと思っていましたし、スクラム運営協議会の成果は着実に出てきていると感じています。一方、コロナの関係で、御前崎の良さである対話や議論が出来ないのは、大変残念だと思っています。ただ、オンラインの良さということを肌で感じつつも、この対面の空気感は引き続き大事にしてほしいと思っています。

課長から各学校のスクラムスクールとスクラムスクール連絡協議会の関係性が進化したというお話がありました。今後、いい関係になっていくのではないかと非常に期待をしています。『あいさつ運動』『早寝早起き朝ごはん』『ゲーム障害・ネット依存の防止』とかの問題は、学校だけではなかなか解決が難しいですし、保護者も本当はわかっているけれど指導は難しいと思います。実際、子供と保護者にずれがあるように思います。同じ空間という中にも、それが実際共有されているとは限らない時代になってきています。そういう難しい課題について市をあげて議論してきたというのが、このスクラムスクール運営協議会だったと思います。

各学校・各地域レベルでの課題や先生たちの思いを解決するという部分には、踏み込みにくかったでしょうが、それが学校スクラムスクールという形で話し合う場が出来たことで、地域や協議会の中で協議ができたり、具体的な形がその協議を通じて実現できたりするのではないかと思います。学校のニーズは地域によって異なると思います。具体的な解決策を探るための教育の場として、この学校スクラムスクールが出来たということは、とても意義があることだと思います。

今後、先生たちや地域の方々に、改めて認識していただきたい大事なことは、『これから学校・地域・保護者が共につくっていく』という哲学が含まれているということです。

学校評議員制度について、

- ・学校経営の目標とかは学校が作るもの。それに対して、第三者の立場として意見を述べるという学校評議員制度。2000年に成立。
- ・90年代中盤ぐらいから、様々な犯罪が起きている中で、学校が外から見にくいということで、キャッチフレーズとして使われたのが、『開かれた学校づくり』というキーワード。学校の情報を外に開いていこうとしただけでは学校は変わらないから、学校に対してアドバイスをする仕組みをつくらうということで出てきた。
- ・学校経営の方針をつくるのは学校けれども、その際に一緒に協議をしていくということと、最終的には、その学校の経営方針を承認するという権限が、評議員にも与えられることになる。捉え方とすれば、地域・保護者の方もその決定に一部関わるとのこと。今まで学校だけで作っていたものを、地域や保護者もみんな話合った結果として、共に学校をつくっていくというもの。

手順や具体的な戦略とかを生み出そうというのが、学校運営協議会の主たるねらいだろうと理解しています。そういった意味で『パートナーシップ』と関わりの補完形成が出来てくると良いと思います。

市の大きな課題に対して様々な協議の中で具体的なアイデアを出して、実践につなげられた『6年以上の蓄積があるスクラムスクール運営協議会』を土台として、学校スクラムスクールの中の協議とそこから出てくる具体策は、学校ごとに特色があるものが出てくるのではないかと思います。

『学力』も『ネット依存防止』についても着実に成果があらわれているというのは、非常に喜ばしいと思っています。ただ、ここまでやってきた中で考えなくてはいけないと感じたのは、スクラムを組むための目的を改めて確認するとともに、それを子供たちがそれを認識できること、これが大事になってくると思います。

スクラム御前崎は、これだけの大きな文化として成り立っているけれど、スクラムを組むことが目的になってしまうと、手段が目的と入れ替わってしまいます。目的は何なのかという事が課長さんの話の中にもありましたけれども、子供たちが最大限力を発揮するというのが目的としてあるのだと思います。ただそれが今まで、学校や家庭や地域がそれぞれやっていたけれども、個別にばらばらでやるのは難しいので、手段としてスクラムを組んでいきたいと思いますというのが、発想だったのだらうと思います。

その具体的な指標として、『ネット依存』とか、『早寝早起き朝ごはん』とか、『学力』とか、『読書』とかが必要になってきて、そういった力を発揮するためには、『基礎的な生活習慣』というのが不可欠だから、そこをしっかりとやっていこうということで、今までやってきたと思います。それが、『ネット依存の防止』とかだけの目的になってしまうと、それを子供たちがどう受け取るのかというところが気になります。子供が、別に今は幸せならいいのではないかなってなってしまうと、大人たちが「寝る時間が大事だ」と言ったとしても、その価値のところが伝わっていかないのではないのでしょうか。子供たちにとって何が目的になるのかと考えた時に、一人一人の幸せな生き方ということを追求していくことだろうと捉えています。

一人一人の生き方というのが非常に多様化してきていて、これが正しいというのは、言いにくい時代になってきています。この与えられた人生の中で、どんな人生を見たいのかということが、常に大人になってからも追求められると思うのですが、一人一人の幸せをどれだけ実感していけるか。その手助けが、学校だったり、地域の活動だったりするのだと思います。子供たち自身が、なぜそういった基本的な生活習慣が必要なのかということを、自分の生き方と照らし合わせて実感できるようになっていくということが、不可欠なのではないでしょうか。（あえて言えば、キャリア教育という言葉）

自分というものがあってそれを実現するためには、こういうことが必要で、そのためには、子供たち自身も努力しなきゃいけない、そうできるように、『御前崎市をあげて連携しながら協力してあげるからね』という応援メッセージになるのではないかと思います。改めてその基礎、これまでの取組から成果が出ているのは確実だと思いますので、子供たちが実感としてもつために、また、子供たちの幸せな生き方を支援するための連携であるために、スクラムスクール運営協議会、そして、各学校レベルで協議していただいて、より進化した、御前崎市のスクラムスクールの運営の仕方、運営の在り方というものを、勉強させていただきたいと思っています。

5 連絡・閉会の言葉